

第2回富谷市協働のまちづくり推進懇話会参加者意見等対応一覧

No.	参加者名 (敬称略)	意見要旨 (発言順)	座長意見要旨	市の考え	素案反映		
1	柳山仁志	このような懇話会を開くにあたって、若い世代の方がここに来られても良かったのではないか。	東日本大震災後、地域に関心を示す若者が増えている。 審議会に若者世代含めていくということもあるかもしれない。	次年度設置予定の富谷市協働のまちづくり推進審議会委員に若い世代の参加を検討いたします。 また今後、子ども達の意見を伺うことについても併せて検討いたします。			
2	戸嶋さち	中学生でも結構意見を持っている。	子ども達もきちんといろいろなことを考えている。 福島県浪江町の復興ビジョン策定時に子ども達の意見を聞いているなどの例もある。 子ども達の代表や何かを配布して書いてもらうなどの取組をしても良いのではないか。				
3	増田恵美子	高齢化が進めば地域力が、活力が低下するはイコールではないと思う。 いろんな世代の人が関わる、関わり方が求められるとか、子どもも巻き込み、元気なお年寄りも活躍してもらいたいな方向に持っていけるような書き振りにできないか。	多様な人たちが力を合わせて乗り越えようとか、あるいは自分たちのまちづくりに関心をもっと持たせようという取組をしているなど、マイナス面だけではなくそれをふまえたプラスの取組も芽生えている。	ご意見を踏まえ、素案(案)を修正いたします。	1. まちづくりの課題及び現状		
4	佐藤政悦	「地域活力の低下が懸念される」という部分は、「課題及び現状」の中で現実をきちっと見ていただければ、団地以外の地区では、そういうことがあるのは否めない。	地域が100あれば100違う、特に富谷は急激な人口増加もあり、団地以外と団地は課題が違う。 両方併記するということは重要である。				
5	平岡政子	団地以外の地区でなければできないこともあり羨む部分もある。 地区により少子高齢化になっていると思うが、子どもがいなくても、高齢者だけでもできるものもあると思う。 やり方に決まりはなく、やっていなくてもまとまっている地区もあり、見方だと思う。	課題ではあるが、見方によっては可能性にも見える。 行政の課題と地域の課題は、大きく違うが、地域の課題も地域によって違い、捉え方も違うため、それに応じた見方が必要ということが今言われていると思う。				
6	平岡政子	町内会館を利用して何か興味のあるものに来てもらい、そこからいろんな行事に繋げていく。 そうした集まりに男性が来るようになり、敬老会やお祭りへの参加に繋がった例がある。					
							反映後 ○全国的な少子高齢化により社会を支える仕組みが変わってきています。 <b>本市においては、地域活力の低下が懸念される地域がある一方で、これまで以上に多様な人々が活躍し、地域を支える幅広い活動が求められています。</b>
							素案(案) ○全国的な少子高齢化により社会を支える仕組みが変わってきています。このことは同時に、地域活力の低下が懸念されることにもつながっています。

No.	参加者名 (敬称略)	意見要旨 (発言順)	座長意見要旨	市の考え	素案反映
7	佐々木吉晴	町内会館の活用事例があった方が分かりやすいのではないかと。 どんなことに活用してどんな展開になっているのかが見えづらい。	文言のマニュアルというのは、なかなか分かりづらい。 ルールの素案に入るかどうかは別として、例えば写真とかちょっとした解説など事例集があるとわかりやすい。 全体の見せ方に関わってくるが指針を作るときに、工夫すべきところではないか。 自分たちの地域の誇りが持てると活動が継続していく。 写真を貼る理由として、可視化とPR、コミュニティへの入り口のハードルを下げることがある。 具体的に書くあるいは写真を載せるなど、一般的に工夫してもいい。	町内会館の活用事例は町内会により多種多様であることから、素案(案)の「2. 協働推進に関わる本市の地域特性」(P.1)に記載している「また、近年、町内会館等において多様な事業が展開されています」として整理いたします。 なお、ご意見を踏まえ、指針の中で活動の様子を写真で紹介するなどの検討をいたします。	
8	戸嶋さち	若い人は会館があっても入ったことがないことがあるため、子どもたちを集めて遊ばせるようにしており、いつ何をしましたという写真を貼っている。 町内会館は、空いている日がないくらい活用されている。			
9	平間由美子	「ゆとりすと」のような地域の交流を図る事業や若い人も交えてのワンコイン交流会を開催している。 敬老会も町内会館で行っているが狭隘であり、備品類の充実など、もう少し会館が使いやすくなれば、参加者も増やすことができると思う。	ハードに近い話にもなるが、行政に2倍に建て替えて欲しいと要望するのか、アイデアを出すのか、行政への要望型と、コミュニティでアイデアを出して解決していくという2パターンある。 そこをどのように解決していくか、市民力というものが試される場所ではないか。 不便さもあるが、会館での活動が活発化しているということでもある。	具体的な取組として、指針策定の参考といたします。 なお、施設等ハード面については、町内会館整備事業において検討いたします。	
10	佐藤政悦	カラオケ設備などを活用して、いろいろな層が常に集まっているという例もある。 カラオケをしながら飲食を伴う親睦行事を行うのも非常に良いと思う。	ルールを作ったあとに、こういった地域の知恵やノウハウをどう蓄積して、それを共有し、コミュニティを維持していくかが重要である。 特産品や名産品を地域の富谷ブランドにしていきたいという思いがあるのではないかと。 物を作っているということが、実は繋がりも作っているのだということは、協働という意味では非常に重要である。	具体的な取組として、指針策定の参考といたします。	
11	柳山仁志	私達もカラオケ大会をしているが、カラオケ設備はリースしており、使用料は参加者の会議から捻出している。			
12	柳山仁志	ブルーベリー摘み取りを通じて、市民同士の繋がりができた事例がある。 収穫祭など皆が参加できるイベントを大きくしていけたら良い。			
13	佐藤政悦	私はブルーベリーやさくらんぼなどに取り組んでいるが、他地区では酒づくりをしているなど地域で特色がある。 他自治体で農家民泊などの例もあることから、新しい住民の皆さんと昔からの農家の繋がりと部分も含められれば良いと思う。			

No.	参加者名 (敬称略)	意見要旨 (発言順)	座長意見要旨	市の考え	素案反映
14	佐々利春	町内会館を拠点として、地域の課題を解決する活動が芽生えていると思う。 自分で情報を得て自ら繋がっていく自主・自発的活動が高まっていると感じる。人やお金だけではなく情報や地域のお宝の紹介をすることで課題解決する活動が広がっていくのではないかと。 また、高齢化率が低いこともアピールすると富谷らしさが出るのではないかと。		具体的な取組として、指針策定の参考といたします。 また、高齢化率が低いことについては、素案(案)の「2. 協働推進に関わる本市の地域特性」(P.1)に記載している「平均年齢(40.9歳)が東北一若く、子どもや子育て世代が多い一方、元気な高齢者が多い現状にあります。」の中に包含し整理いたします。	
15	増田恵美子	女性の活躍が多いのは、男性の懐や度量が深いということもあり、のびのび活動できているのではないかと感じます。	都市近郊では農家の直販所を女性がやっている例もある、マルシェでも女性の出店が多い。	ご意見を踏まえ、素案(案)を修正いたします。	2. 協働推進に関わる本市の地域特性
16	村上幸枝	町内会館が思っていた以上に活動拠点として使われているのは良いと感じた。 女性活躍の風土については、はちみつプロジェクトも最初は女性が多かったが、今は男性も入ってきている。男女共同の場ともなり良い相乗効果が出ていると感じている。	「女性活躍の風土があり」は、今は男女共同や多様性が特に言われているので、意味の捉え方など加筆が必要ではないかと。		
17	佐々利春	台風災害ボランティアで他県からのボランティアと話して感じたことだが、思いを一つにすることで達成感以上に繋がりが深まったと思う。 そのためには情報をきちんと伝えることが大事であり、分かりやすく、より明確にすることで同じ方向に向いていくのではないかと。		具体的な取組として、指針策定の参考といたします。	
18	柳山仁志	以前社協で他県のボランティアと座談会を開催したが、お互いの情報を知ることができ非常に参考となった。「市民の思いや活動を理解し、まちづくりに関わる様々な主体の気づきと行動につながる実効性のある指針」というのは、こういったコミュニケーションから理解に繋がっていき、機運も高まっていくのではないかと。			
19	戸嶋さち	「気づきと行動につながる」で、民生委員をやっていることもあり、市や社協の情報など声掛けに努めている。			

反映後	素案(案)
○ <b>まちづくりにおいて、男女がともに</b> 多方面で活躍しています。また、様々なスキルを持った人が全国各地から転入しています。	○女性活躍の風土があり、多方面で女性が活躍しています。また、様々な経験やスキルを持った人が全国各地から転入しています。

No.	参加者名 (敬称略)	意見要旨 (発言順)	座長意見要旨	市の考え	素案反映				
20	佐々木吉晴	「ゆるやかな枠組みとして策定」ということで、大変良い表現になっていると思う。 まちづくりに関わる様々な主体が、お互いを尊重しながら皆で住みよくよりよいまちにしたいという思いを同じにし、対等な立場で協働を促進できるという表現が大変嬉しく思う。 また、専門用語やカタカナ用語などは、もう少しわかりやすい、砕いた表現にすると良いのではないか。		ご意見を踏まえ素案(案)を修正いたします。 なお、指針において、専門用語等の解説の記載を検討いたします。	2. 協働推進に関わる本市の地域特性 <table border="1"> <thead> <tr> <th>反映後</th> <th>素案(案)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○地域福祉の推進や新たな特産品づくりなどにおいて、<b>社会福祉協議会、シルバー人材センターなどの公益的法人やNPO(特定非営利活動)法人との連携</b>が進んでいます。</td> <td>○地域福祉の推進や新たな特産品づくりなど、公益法人やNPO法人との連携が進んでいます。</td> </tr> </tbody> </table>	反映後	素案(案)	○地域福祉の推進や新たな特産品づくりなどにおいて、 <b>社会福祉協議会、シルバー人材センターなどの公益的法人やNPO(特定非営利活動)法人との連携</b> が進んでいます。	○地域福祉の推進や新たな特産品づくりなど、公益法人やNPO法人との連携が進んでいます。
反映後	素案(案)								
○地域福祉の推進や新たな特産品づくりなどにおいて、 <b>社会福祉協議会、シルバー人材センターなどの公益的法人やNPO(特定非営利活動)法人との連携</b> が進んでいます。	○地域福祉の推進や新たな特産品づくりなど、公益法人やNPO法人との連携が進んでいます。								
21	増田恵美子	前回話し合ったことが織り込まれていて良いと思う。 市の総合計画と整合性を図るという言葉が入ったこと、また、ルールという言葉に対する皆さんのこだわりについて、ルールは確定ではなく、それも含めどうするかということが打ち出させているのはとても良いと感じる。	ルールは確定ではないことを明記したこと、富谷らしい言葉をつくることも重要である。	指針策定の参考といたします。					
22	平間由美子	「ゆるやかな枠組み」の「思いを共有し、協働を促進」に情報も共有できるともっと理解できるのではないか。		素案(案)の5.「指針策定の基本的な考え方」(P.3)に記載している「(1)ゆるやかな枠組みとして策定」において、「情報共有」は「協働を促進できる」に包含して整理いたします。 なお、「情報共有」については、具体的な取組として、指針策定の参考といたします。					

No.	参加者名 (敬称略)	意見要旨 (発言順)	座長意見要旨	市の考え	素案反映				
23	村上幸枝	住みよくよりよいまちにしたいという思いや、多世代が共有できるなどを、富谷らしい言葉にしていけると良いと思う。	<p>文章にすると難しくなるが実は難しい。多様なセクター、あらゆる人を巻き込むためには、わかりやすいことが重要である。また、実践のための指針であることを強く意識する必要がある。</p> <p>仙台市の事例集の例もあるが、みなさんが実践してきたノウハウを可視化することが一番わかりやすいのではないか。</p>	<p>ご意見を踏まえ、素案(案)を修正いたします。</p>	<p>5. 指針策定の基本的な考え方</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>反映後</th> <th>素案(案)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> <p>(1) ゆるやかな枠組みとして策定</p> <p>義務や権利を明確化することを目的とするものではなく、まちづくりに関わる様々な主体がお互いを尊重しつながら、より住みやすいまちにしたいという思いを共有し、協働を促進できる、ゆるやかな枠組みとします。</p> <p>(2) 気づきと実践につながる、富谷らしい指針の策定</p> <p>市民の思いや活動を理解し、まちづくりに関わる様々な主体の気づきと実践につながる実効性のある指針とします。また、本市の地域性と時代に合った富谷らしい指針の策定にあたり、総合計画と整合性を図り一体的な取組みができるものとします。</p> </td> <td> <p>(1) ゆるやかな枠組みとして策定</p> <p>義務や権利を明確化することを目的とするものではなく、まちづくりに関わる様々な主体がお互いを尊重しながら、住みよくよりよいまちにしたいという思いを共有し、協働を促進できる、ゆるやかな枠組みとします。</p> <p>(2) 気づきと行動につながる、本市の地域性と時代に合った指針の策定</p> <p>市民の思いや活動を理解し、まちづくりに関わる様々な主体の気づきと行動につながる実効性のある指針とします。また、本市の地域性と時代に合った指針の策定にあたり、総合計画と整合性を図り一体的な取組みができるものとします。</p> </td> </tr> </tbody> </table>	反映後	素案(案)	<p>(1) ゆるやかな枠組みとして策定</p> <p>義務や権利を明確化することを目的とするものではなく、まちづくりに関わる様々な主体がお互いを尊重しつながら、より住みやすいまちにしたいという思いを共有し、協働を促進できる、ゆるやかな枠組みとします。</p> <p>(2) 気づきと実践につながる、富谷らしい指針の策定</p> <p>市民の思いや活動を理解し、まちづくりに関わる様々な主体の気づきと実践につながる実効性のある指針とします。また、本市の地域性と時代に合った富谷らしい指針の策定にあたり、総合計画と整合性を図り一体的な取組みができるものとします。</p>	<p>(1) ゆるやかな枠組みとして策定</p> <p>義務や権利を明確化することを目的とするものではなく、まちづくりに関わる様々な主体がお互いを尊重しながら、住みよくよりよいまちにしたいという思いを共有し、協働を促進できる、ゆるやかな枠組みとします。</p> <p>(2) 気づきと行動につながる、本市の地域性と時代に合った指針の策定</p> <p>市民の思いや活動を理解し、まちづくりに関わる様々な主体の気づきと行動につながる実効性のある指針とします。また、本市の地域性と時代に合った指針の策定にあたり、総合計画と整合性を図り一体的な取組みができるものとします。</p>
反映後	素案(案)								
<p>(1) ゆるやかな枠組みとして策定</p> <p>義務や権利を明確化することを目的とするものではなく、まちづくりに関わる様々な主体がお互いを尊重しつながら、より住みやすいまちにしたいという思いを共有し、協働を促進できる、ゆるやかな枠組みとします。</p> <p>(2) 気づきと実践につながる、富谷らしい指針の策定</p> <p>市民の思いや活動を理解し、まちづくりに関わる様々な主体の気づきと実践につながる実効性のある指針とします。また、本市の地域性と時代に合った富谷らしい指針の策定にあたり、総合計画と整合性を図り一体的な取組みができるものとします。</p>	<p>(1) ゆるやかな枠組みとして策定</p> <p>義務や権利を明確化することを目的とするものではなく、まちづくりに関わる様々な主体がお互いを尊重しながら、住みよくよりよいまちにしたいという思いを共有し、協働を促進できる、ゆるやかな枠組みとします。</p> <p>(2) 気づきと行動につながる、本市の地域性と時代に合った指針の策定</p> <p>市民の思いや活動を理解し、まちづくりに関わる様々な主体の気づきと行動につながる実効性のある指針とします。また、本市の地域性と時代に合った指針の策定にあたり、総合計画と整合性を図り一体的な取組みができるものとします。</p>								
24	佐藤政悦	ルールや総合計画などは一般市民にはとっつきにくい部分があるため、わかりやすく理解できるような形とすることが一番である。策定後はどのように実践していくかも大きな問題となるので、それをふまえて作っていただきたい。							
25	平岡政子	住んでいるところ、住んでいる場所を良くする、簡単な言葉で言えば「住みやすい」ということだと思う。 フォーラムや懇話会など、参加できた人から参加できなかった人に繋げることから始めて、47町内会を繋げる、やはり繋がっていくことが一番であると思う。 難しいことを言わず、何でもやるからついてきてという感じでやらないと、誰もついてこないと思う。							